

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	科学研究費補助金	事業開始年度	昭和40年度	作成責任者		
担当部局庁	研究振興局	担当課室	学術研究助成課	学術研究助成課長 渡邊淳平		
会計区分	一般会計	上位政策	学術研究の振興			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	【文部科学省交付分】 - 【(独)日本学術振興会交付分】独立行政法人日 本学術振興会法第15条第1号	関係する計 画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	科学研究費補助金(以下「科研費」という。)は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を対象とする唯一の競争的資金であり、人類共通の知的資産を創出するとともに、重厚な知的蓄積の形成に資する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	科研費では、大学等の研究者に広く公募を行っており、応募された研究課題については、延べ6,000人以上の研究者による専門分野毎のピア・レビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)を行い、研究者に研究費を支給している(ピア・レビューによる審査結果を踏まえて査定の上必要な額を全額補助)。 また、平成11年度に日本学術振興会への科研費の移管を始め、現在では科研費の研究種目の多くを日本学術振興会において担当している。					
実施状況	【平成21年度配分実績】 新規応募件数 約10.4万件 新規採択件数 約02.6万件 継続課題を含めた交付実績 約6万件					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	191,357	193,258	197,059	200,068	210,061
	執行額	190,363	192,631	196,115		
	執行率	99.5%	99.7%	99.5%		
	総事業費(執行ベース)	190,363	192,631	196,115		
自己点検 見直しの 余地	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	○科研費は研究者を対象とする補助金であるが、研究者個人で管理するのではなく、当該研究者が所属する研究機関において、当該研究機関が定める規程等に従って適切に管理することとなっている。 ○また、文部科学省では、競争的資金制度全体のガイドラインを定め、それに沿った資金の管理・監査体制の整備を研究機関に対し求めている。さらに、毎年度、一定の研究機関を抽出して現地調査を行い、研究機関における科研費の管理・監査体制整備の実態を適切に把握している。				
	見直しの 余地	○科研費については、これまでも継続的に制度改善に取り組んでいる。特に、審査・評価は、競争的資金における最も重要な過程であることから、日本学術振興会学術システム研究センターにおいて、審査委員候補者の選任や審査・評価の実施方法等に係る検証を行い、その検証結果について審議会においてレビューを行った上で、その改善を次年度の取組に反映させるサイクルを確立するなど、きめ細かく公平・公正な資金配分が効果的に実施されるよう絶えず改善・充実に取り組んでおり、今後も、引き続き、審査・評価の改善・充実に努めるべき。 ○また、科研費の現状や望ましい在り方等についても審議会等において絶えずチェックし、制度改正を行っているほか、外部からも総合科学技術会議によりレビューが行われており、改善が求められている。このような中、研究費の早期交付、間接経費の措置、経費の機関管理の義務化、繰越し制度の活用など様々な制度改正を積極的に進めており、平成21年10月の総合科学技術会議の見解においても「多くの競争的資金の中でも、先導的かつ積極的に制度改革に取り組む、不正防止対策にも力を入れるなど他の模範となっている」とされている。今後も、引き続き、研究者にとって使い勝手の良い制度となるよう制度改善に努めるべき。 ○科研費の研究成果報告書等の提出について、会計検査院から長期未提出の者が存在することに対して是正及び是正改善措置を求められたことを踏まえ、今後の対応方針について早急に検討し、再発防止に万全を期すべき。 ○本年4月に行われた事業仕分けにおける「文部科学省から完全に移行できていない、財政的な問題がある、という点についても、独立行政法人として独立性をもって資金配分すべきであり、早急な独立性強化も必要である」との指摘等も踏まえ、引き続き日本学術振興会への移管を着実に進めるべき。				
予算 監視 の・ 所効 見率 化 チ ー ム	1. 事業評価の観点:この事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)の支援を行う競争的資金であり、長期継続事業にあたる。 2. 所見:20年以上続く長期継続事業であるが、学術研究を支える唯一の競争的資金として不可欠なものである。この事業は、昨年11月の事業仕分け等も踏まえて実施しているところであるが、本年4月の独立行政法人の事業仕分けにおいて、日本学術振興会交付分に対して、他機関との協調、コスト削減、独立性強化によるガバナンスの強化との指摘がなされており、これまでの事業の成果を適切に検証した上で、こうした指摘に沿うよう、効率化を図りつつ、日本学術振興会への事業の移管を進めるべきである。また、これまでも他の模範となるような制度改善を行ってきたが、より研究者にとって使いやすく、かつ、国費が有効に使われるような事業にしていきたい。「研究費・プロジェクト系教育経費の効果的予算措置に関する中間報告」の検討の中で明らかとなった若手研究者の意見等も踏まえ、若手研究等の一部のプログラムについて試行的に基金化するなど、「研究費の複数年度執行」を可能とする仕組みの導入を検討すべきである。					
補 記						

文部科学省
196,115百万円

〔補助〕

A: 科学研究費補助金事業
124,750百万円
(独)日本学術振興会

物品費 6百万円
旅費 72百万円
謝金等 395百万円
その他 1,542百万円
を含む

科学研究費補助金事業
71,365百万円
文部科学省

諸謝金 12百万円
委員等旅費 1百万円
職員旅費 9百万円
庁費 24百万円
を含む

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

〔文部科学省科学技術・学術審議会から示された科学研究費補助金の基本的考え方に従い、日本学術振興会科学研究費委員会で審査方針等を決定し、ピア・レビューを経て採択された研究課題について、補助金を交付。〕

〔文部科学省においてピア・レビューを経て採択された研究課題について補助金を交付するほか、日本学術振興会においてピア・レビューを経て採択された研究課題について日本学術振興会からの報告に基づき、補助金を交付。〕

〔公募・間接補助〕

B: 科学研究費補助金事業
122,735百万円
研究者等
(41,318件)

〔研究の実施。〕

〔公募・補助〕

C: 科学研究費補助金事業
71,319百万円
研究者等
(17,327件)

〔研究の実施。〕

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A. (独)日本学術振興会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
研究補助	研究者に交付	122,735			
物品費	審査等に必要の消耗品の購入等	6			
旅費	委員会出席旅費等	72			
謝金等	書面審査謝金、委員手当等	395			
その他	電算処理運用・開発経費、審査資料作成経費等	1,542			
計		124,750	計		0
B. 研究代表者Aほか					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	物品(質量分析計等)の購入等	100			
旅費	研究旅費等	1			
その他	上記のほか、印刷費、複写費等研究遂行に直接必要な経費	7			
間接経費		32			
計		140	計		0
C. 研究代表者Aほか					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	物品(電子顕微鏡等)の購入等	301			
旅費	研究旅費等	4			
謝金等	研究への協力謝金等	10			
その他	上記のほか、印刷費、複写費等研究遂行に直接必要な経費	2			
間接経費		95			
計		412	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

B: 科学研究費補助金事業

	支出先	支出額(百万円)
1	研究代表者Aほか	140
2	研究代表者Bほか	135
3	研究代表者Cほか	134
4	研究代表者Dほか	131
5	研究代表者Eほか	128
6	研究代表者Fほか	127
7	研究代表者Gほか	120
8	研究代表者Hほか	116
9	研究代表者Iほか	116
10	研究代表者Jほか	116
⋮	その他	121,472
合計		122,735

注1) 平成21年度科学研究費のうち、(独)日本学術振興会が交付業務を行っている「基盤研究」「挑戦的萌芽研究」「若手研究(S)」「若手研究(スタートアップ)」及び「学術創成研究費」について分類したものである。

注2) 支出額には、直接経費のほか間接経費も含まれている。

注3) 研究の実施に当たっては、研究代表者のほか、研究分担者等の複数の研究者によって研究組織を構成している。

注4) 表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない場合がある。

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

C: 科学研究費補助金事業

	支出先	支出額(百万円)
1	研究代表者Aほか	413
2	研究代表者Bほか	380
3	研究代表者Cほか	285
4	研究代表者Dほか	238
5	研究代表者Eほか	225
6	研究代表者Fほか	224
7	研究代表者Gほか	215
8	研究代表者Hほか	204
9	研究代表者Iほか	195
10	研究代表者Jほか	180
⋮	その他	68,760
合計		71,319

注1) 平成21年度科学研究費のうち、文部科学省が交付業務を行っている「特別推進研究」「特定領域研究」「新学術領域研究」「若手研究(A・B)」及び「特別研究促進費」について分類したものである。

注2) 支出額には、直接経費のほか間接経費も含まれている。

注3) 研究の実施に当たっては、研究代表者のほか、研究分担者等の複数の研究者によって研究組織を構成している。

注4) 表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない場合がある。